



にんがちかじまーいに注意！！ (2月風廻り)

昔から沖縄には“ニンガチカジマーイ”(2月風廻り)という海の荒れ日がある。この風廻りのある前後数日を、漁業者は台風に次ぐ荒れ日として戒め合い、今日まで継承している。これは15世紀久米島の「堂の比屋」という人が、体験を基に集大成したと伝えられる「お日より拝み日記」から出たものである。史書によると「冬至より86日目は鳥名の破雨風そのとき2月廻り」とある。これは新暦ではおよそ3月中旬に当たる。沖縄における3月上旬から中旬までの日平均気圧の変化をみると、5日から次第に下り9日には急降下しているため、9日から13日にかけて低気圧など擾乱がよく通っていることが伺える。日最大風速の変化もこれとよく対応している。このころ、当地方を発達した低気圧またはこれに伴う前線が通過する場合、南風から北風への変わり方が速く、北風は季節風も加わって急に強く吹くため、過去多くの水難事故が起きているので皆さまも最新の気象情報を手に入れて急変の場合の対応の方法を、事前にスタッフでしっかりとミーティングをお願い致します。

水難事故発生状況

	平成26年度						平成25年度						増減					
	発生		死者数		行方不明		発生		死者数		行方不明		発生		死者数		行方不明	
	子供		子供		子供		子供		子供		子供		子供		子供		子供	
県民	2	0	2	0	0	0	6	1	4	0	0	0	-4	-1	-2	0	0	0
観光客	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
米軍人	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
総数	4	0	2	0	0	0	6	1	4	0	0	0	-2	-1	-2	0	0	0

平成26年3月12日現在